

pT1aNOMO 腎癌の転移再発に関する観察研究

▶ 研究の対象

2007年1月1日から2016年12月31日の期間に、根治的手術を施行されpT1aNOMOと診断された腎細胞癌の患者さん

▶ 研究目的・方法

予後良好であるpT1aNOMO（病理学的に4cm以下で、転移のないもの）腎癌にも再発症例が散見されます。小径にも関わらず術後再発する腎癌には、その生物学的悪性度を説明しうるような何らかの変化が既に生じている可能性が考えられますが、pT1a腎癌再発症例の臨床病理学的あるいは分子生物学的な検討はあまり多くありません。

本研究では熊本大学病院とその協力病院において、過去10年間のpT1a腎癌再発症例患者の検査、治療経過を後方視的に解析し、患者背景、検査、治療方法とその結果について明らかにすることを目的とします。

対象者が腎細胞癌と診断された日～2019年12月31日までの医療情報を診療録（紙カルテ、電子カルテの両者）から抽出して研究を行います。

成果報告は学会発表、論文化、熊本大学病院泌尿器科ホームページ（<https://kumamoto-urology.com/>）で行います。

▶ 実施期間

2021年4月30日～2025年3月31日

▶ 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報（年齢、性別、診断日）、治療開始前情報（病変部位、術前化学療法、併存既往疾患）、手術関連情報、合併症の有無・内容、再手術の有無・詳細、術後在院日数など

▶ 研究の実施体制

[研究代表機関・研究代表者]

熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器科学分野・教授 神波 大己

[共同研究機関・研究責任者]

済生会熊本病院腎・泌尿器センター・部長 渡邊 紳一郎

京都大学大学院医学研究科泌尿器科学教室・教授 小川 修

神戸市立医療センター中央市民病院・医長 山崎 俊成

▶ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方

にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および 研究への利用を拒否する場合の連絡先	済生会熊本病院 泌尿器科 渡邊紳一郎 住所： 熊本市南区近見5丁目3番1号 (電話番号： 096-351-8000(病院代表))
-----------------------------	--

以上